

M32C E8a エミュレータデバッガ

リリースノート

弊社製品をご使用いただき厚く御礼申し上げます。本製品を使用するにあたり注意事項がございます。ご留意いただけますようお願い申し上げます。

なお、ルネサス統合開発環境 High-performance Embedded Workshop の注意事項については「High-performance Embedded Workshop リリースノート」に記載していますので、こちらも合わせてご覧ください。

目次

1	適用.....	2
2	デバッガの動作環境.....	2
2.1	動作環境(Windows® XP、Windows® 2000、Windows Vista®)	2
3	サポートデバイス.....	2
3.1	M32C/80 シリーズMCU.....	2
4	注意事項.....	3
4.1	フラッシュメモリ書き換えに関する注意事項.....	3
4.2	メモリ自動更新機能使用時の注意事項.....	3
4.3	メモリのベリファイ機能.....	3
4.4	Windows Vista®使用時の注意事項.....	4
4.5	I/Oファイルに関する注意事項.....	4
5	バージョンレポート	5
5.1	M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.04.00	5
5.1.1	機能拡張.....	5
5.2	M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.03.00	5
5.2.1	機能拡張.....	5
5.3	M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.02.00	5
5.3.1	サポートデバイスの追加	5
5.3.2	制限事項の改修	5
5.3.3	機能拡張.....	6
5.4	M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.01.00	6
5.4.1	制限事項の改修	6
5.5	M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.00.00	6

1 適用

本リリースノートは、E8a エミュレータソフトウェアの以下の部品に対応しています。

- ・ M32C E8a エミュレータデバッグ V.1.04.00

2 デバッグの動作環境

2.1 動作環境 (Windows® XP、Windows® 2000、Windows Vista®)

PC 環境	
PC 本体	IBM PC/AT 互換機
OS	Windows Vista® 32 ビット版 *1 *3 Windows® XP 32 ビット版 *1 *2 Windows® 2000 *1
CPU	Pentium 4 3GHz 以上を推奨
メモリ	Windows Vista®: 1.5GB 以上 (+ロードモジュールのファイルサイズの 10 倍以上)を推奨 Windows® XP, Windows® 2000: 768MB 以上 (+ロードモジュールのファイルサイズの 10 倍以上)を推奨
ハードディスク	デバッグのインストールに 200MB 以上の空き容量が必要 (スワップ領域を考慮して、さらにメモリ容量の 2 倍以上(推奨 4 倍以上)の 空き容量をご用意ください)
ディスプレイ解像度	1024×768 以上を推奨

*1 : Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

*2 : 64 ビット版の Windows® XP には対応していません。

*3 : 64 ビット版の Windows Vista®には対応していません。

3 サポートデバイス

3.1 M32C/80 シリーズ MCU

グループ名	型名
M32C/84	M30843FJ, M30843FW, M30843FH, M30845FJ, M30845FW, M30845FH,
M32C/85	M30853FJ, M30853FW, M30853FH, M30855FJ, M30855FW, M30855FH
M32C/86	M30865FJ
M32C/87	M30879FL, M3087BFL M30873FH, M30875FH, M30876FJ, M30878FJ, M30879FK, M3087BFK
M32C/88	M30880FW, M30882FW, M30880FH, M30882FH, M30880FJ, M30882FJ
M32C/8B	M308B6FC, M308B8FC, M308B6FG, M308B8FG

4 注意事項

注意事項については、対応デバイスの「E8a エミュレータユーザズマニュアル別冊」を参照ください。
以下は、マニュアル別冊の補足事項になります。

4.1 フラッシュメモリ書き換えに関する注意事項

フラッシュメモリ書き換え中にデバッグ操作を行わないでください。フラッシュメモリ書き換えは、High-performance Embedded Workshop のアウトプットウィンドウ上で、"Flash memory write end"が表示された時点で終了します。フラッシュメモリ書き換えが発生するケースは以下の通りです。

- ・ ユーザプログラムダウンロード時
- ・ フラッシュメモリ上に PC ブレークを設定し、ユーザプログラム実行した後
- ・ フラッシュメモリ上に設定した PC ブレークを解除し、ユーザプログラム実行した後
- ・ メモリウィンドウでフラッシュメモリの値を書き換え、ユーザプログラム実行した後

4.2 メモリ自動更新機能使用時の注意事項

- ・ メモリウィンドウやウォッチウィンドウの自動更新を有効にしている場合は、マイコンのハードウェアリセットを行わないでください。
- ・ メモリウィンドウやウォッチウィンドウのメモリ自動更新を有効にした状態で、ステップアウト実行や連続ステップ実行を行わないでください。

4.3 メモリのベリファイ機能

- ・ E8a エミュレータデバッガでは、以下のメモリベリファイ機能はサポートしていません。常にメモリベリファイなしとして動作します。
 - メモリ設定(メモリウィンドウの[設定]ポップアップメニュー等)
 - メモリ充填(メモリウィンドウの[フィル]ポップアップメニュー等)
 - メモリコピー(メモリウィンドウの[コピー]ポップアップメニュー等)
 - 読み込み(メモリウィンドウの[読み込み]ポップアップメニュー等)
- ・ E8a エミュレータデバッガでは、ダウンロードモジュールダイアログボックスの「ダウンロード時のメモリベリファイ」「アクセスサイズ」には対応していません。常にメモリベリファイなし、アクセスサイズ 1としてください。
- ・ [デバッグ]->[メモリのベリファイ]機能で、デバッグ情報を含むフォーマットは選択できません。[フォーマット]ドロップダウンリストにデバッグ情報を含むフォーマットが表示される場合がありますが、それらは選択しないでください。

4.4 Windows Vista®使用時の注意事項

- ・ Windows Vista®の低消費電力モードへの移行
Windows Vista®がスリープモードおよび休止モードに移行した場合、エミュレータとの USB 通信で通信エラーが発生する場合があります。Windows Vista®上で、スリープモードおよび休止モードに移行しないように設定してください。
- ・ Windows Vista®でヘルプ (状況依存ヘルプを含む) が表示できない場合があります。下記マイクロソフト コーポレーション (Microsoft Corporation) のホームページから Windows ヘルプ (WinHlp32.exe) をインストールしてください
<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=6ebcfad9-d3f5-4365-8070-334cd175d4bb>

4.5 I/O ファイルに関する注意事項

- ・ I/O ウィンドウの表示内容に誤りがある場合、I/O ファイルの修正によって解決する場合があります。
- ・ I/O ファイルの作成・修正・カスタマイズは、お客様にて実施いただくことが可能です。
その方法は、High-performance Embedded Workshop ヘルプの「I/O ファイルフォーマット」を参照ください。

5 バージョンレポート

5.1 M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.04.00

本バージョンでは、前バージョンM32C E8a エミュレータデバッガ V.1.03.00から以下の仕様を変更しました。

5.1.1 機能拡張

1. 従来”Communication Timeout Error”で終了していた場合でも、デバッガを終了せずに継続して使用できるようにしました。
2. ”Communication Timeout Error”の表示ダイアログから FAQ を表示できるようにしました。

5.2 M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.03.00

本バージョンでは、前バージョンM32C E8a エミュレータデバッガ V.1.02.00から以下の仕様を変更しました。

High-performance Embedded Workshop V.4.05.00、および、V.4.05.01 で改修された制限事項、および機能拡張された項目に対応しました。詳細は、2008年11月25日発行のツールニュース(081125/tn1)、および、2009年2月1日発行のツールニュース(090201/tn3)をご参照ください。

5.2.1 機能拡張

1. Windows Vista® に対応しました。標準権限でのデバッグが可能です。
注：64ビット版の Windows Vista®には対応していません。

5.3 M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.02.00

本バージョンでは、前バージョンM32C E8a エミュレータデバッガ V.1.01.00から以下の仕様を変更しました。

High-performance Embedded Workshop V.4.04.00、および、V.4.04.01 で改修された制限事項、および機能拡張された項目に対応しました。詳細は、2007年12月16日発行のツールニュース(071216/tn5)、および、2008年1月18日発行のツールニュース(080118/tn1)をご参照ください。

5.3.1 サポートデバイスの追加

- ・ M32C/8Bグループ：
M308B6FC, M308B8FC, M308B6FG, M308B8FG

5.3.2 制限事項の改修

1. RENESAS TOOL NEWS 資料番号:080316/tn2「M32C/80 シリーズ MCU をターゲット MCU としてデバッグする際の注意事項」を改修しました。
(詳細は、2008年03月16日発行のツールニュース(080316/tn2)を参照ください)

5.3.3 機能拡張

1. ウォッチの自動更新速度を高速化しました。

5.4 M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.01.00

本バージョンでは、前バージョン M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.00.00 から以下の仕様を変更しました。

High-performance Embedded Workshop V.4.03.00 で改修された制限事項、および機能拡張された項目に対応しました。詳細は、2007 年 7 月 1 日発行のツールニュース(070701/tn1)をご参照ください。

5.4.1 制限事項の改修

1. RENESAS TOOL NEWS 資料番号:071116/tn3「エミュレータの BUSY 端子に接続するマイコン端子の処理に関わる注意事項」を改修しました。
(詳細は、2007 年 11 月 16 日発行のツールニュース(071116/tn3)を参照ください)
2. 以下の制限事項を改修しました。
 - ・ デバッガ起動時にエミュレータ設定ダイアログボックスで「CPU 書き換えモードのデバッグ」モードを選択した場合、メモリウィンドウやウォッチウィンドウ等でデータフラッシュ領域の値を変更すると、変更していないデータフラッシュ領域の内容がユーザープログラムで CPU 書き換えを行う前の状態に戻る。
 - ・ ユーザープログラムをターゲットへダウンロードする際に、ユーザープログラムの領域が E8a エミュレータデバッガの占有領域と重複してもエラーメッセージが表示されない場合がある。

5.5 M32C E8a エミュレータデバッガ V.1.00.00

新規リリース

以上